

第210回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成25年9月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,599	-1.04	-0.14	4,123	0.04	0.04
東部地区	14,235	-1.26	-0.14	5,689	-0.69	-0.17
西部地区	10,406	-1.35	0.05	3,989	-0.15	0.02
駅南地区	6,369	-0.46	0.47	2,766	-0.25	0.14
半田地区	3,684	0.08	0.00	1,393	-0.14	0.21
横山地区	5,586	-1.79	-0.10	1,938	-0.92	0.10
茨目・田尻地区	7,021	0.09	0.19	2,464	2.15	0.48
荒浜地区	5,026	-1.29	-0.25	2,013	-0.78	-0.04
その他地区	19,598	-1.77	0.00	7,157	-0.25	0.11
西山町地区	6,041	-1.74	-0.24	2,132	-1.06	-0.14
高柳町地区	1,704	-4.64	-0.35	791	-3.18	-0.25
柏崎市計	89,269	-1.28	-0.02	34,455	-0.29	0.04
刈羽村	4,813	-1.06	0.12	1,567	-0.19	0.19
小国地区（長岡市）	5,970	-1.93	-0.15	2,134	-0.14	-0.04
出雲崎町	4,883	-2.28	-0.30	1,778	-1.22	-0.11
合計	104,935	-1.35	-0.04	39,934	-0.32	0.04

（資料出所：柏崎市、各市町村）

人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,159人、1.28％、刈羽村で52人、1.06％、小国地区（長岡市）で、118人、1.93％、出雲崎町で114人、2.28％とそれぞれ減少しており、全体では1,443人、1.35％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で26人、0.02％、小国地区で9人、0.15％、出雲崎町で15人、0.30％減少しており、刈羽村で6人、0.12％増加したものの全体では44人、0.04％減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、柏崎市で102世帯、0.29％、刈羽村で3世帯、0.19％、小国地区で3世帯、0.14％、出雲崎町で22世帯、1.22％減少したことから、全体では130世帯、0.32％の減少となった。また、前月比においては、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で2世帯、0.11％減少したが、柏崎市で16世帯、0.04％、刈羽村で3世帯、0.19％、増加した結果、全体では16世帯、0.04％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,456		16.10		2.75	
月間有効求職者	1,820		-3.49		0.60	
月間有効求人倍率	0.80	1.00	0.14*	0.18*	0.02*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,456人と前年同月比で202人、16.10％の増加となり、前月比でも39人、2.75％増加している。

月間有効求職者数は、1,820人と前年同月比で66人、3.49％減少し、前月比では11人、0.60％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.80倍と前年同月比で0.14ポイント上回り、前月比でも0.02ポイント上回っている。なお、県平均1.00倍と比べると0.20ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が544人と前年同月比で58人、11.93％増加し、月間新規求職者数が495人と前年同月比で1人、0.20％減少した結果、月間新規求人倍率は1.10倍となり、前年同月の0.98倍に比べて0.12ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	33	-2	-6	232	23
共 同 住 宅	0	-1	-3	9	-9
事 務 所	1	1	1	5	2
作 業 所・工 場	0	-1	-2	4	-1
営 業 建 物	4	4	1	15	6
公 共 建 物	0	-1	0	2	-1
そ の 他	14	4	9	68	-15
合 計	52	4	0	335	5

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が52件と前年同月比で4件の増加となり、前月比では増減なしとなっている。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比2件の減少となり前月比でも6件減少している。共同住宅は前年同月比で1件減少しており、前月比でも3件減少となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が41件となっており、また一般住宅(併用)33件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が26件(うち新築22件)、市外施工業者が5件(うち新築3件)、未定が2件となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,678	0.32	0.14	17,036	-11.25	-4.02
電 力	9,808	-3.20	-2.20	40,744	-3.69	-1.09

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で213口、0.32%増加し、前月比でも、93口、0.14%増加している。一方、電力においては、前年同月比で325口、3.20%減少し、前月比でも221口、2.20%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で2,160kwh、11.25%減少し、前月比でも、714kwh、4.02%減少している。一方、電力においては、前年同月比で1,562kwh、3.69%減少し、前月比でも、451kwh、1.09%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	622,378	14.19	-1.21	755,278	0.47	0.13
営 業 用	194,944	-6.91	-20.68	131,126	1.74	-5.08
工 業 用	805,799	16.65	12.27	115,400	-12.75	3.50
官 公 学 校 用	277,391	-17.49	-28.78	85,420	-3.43	-10.92
そ の 他				65	-62.42	-75.56
合 計	1,900,512	6.68	-4.16	1,087,289	-1.28	-1.16

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で119,065m³、6.68%増加し、前月比では82,511m³、4.16%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比は家庭用、工業用で増加しており、前月比では、工業用を除く用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で14,169m³、1.28%減少し、前月比でも、12,792m³、1.16%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用、営業用を除く用途で減少、前月比では、家庭用、工業用を除く用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	90,839	-1.54	-12.34	94,291	0.60	-12.44
西 山	42,290	-0.01	-25.14	39,387	-2.84	-30.81
米 山	23,147	3.10	-34.15	21,626	3.75	-34.73
合 計	156,276	-0.47	-19.97	155,304	0.12	-21.46

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で740台、0.47%減少しており、前月比でも39,009台、19.97%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で194台、0.12%増加し、前月比では、42,458台、21.46%減少している。

インター別で見ると、前年同月比で、入口では米山インターで増加し、出口は柏崎・米山インターで増加、前月比は、すべてのインターの入口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	363,110	0.73	-1.09	144,475	-1.24	-0.98
平 残	363,797	1.33	-0.50	145,245	0.32	0.29

預金は、末残が前年同月比で2,641百万円、0.73%増加し、前月比では、4,015百万円、1.09%減少している。また、平残においては、前年同月比で4,797百万円、1.33%増加し、前月比では、1,832百万円、0.50%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,821百万円、1.24%減少し、前月比でも1,430百万円、0.98%減少している。平残においては、前年同月比で467百万円、0.32%の増加となり、前月比でも、421百万円、0.29%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,809	30.52	32.69
交 換 金 額	23,549	74.08	69.89
不 渡 り 手 形 枚 数	3	-82.35	-50.00
不 渡 り 手 形 金 額	1	-94.45	-11.35

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で6,504枚、30.52%増加し、前月比でも6,852枚、32.69%増加している。また、交換金額においては前年同月比で10,022百万円、74.08%増加しており、前月比でも9,688百万円、69.89%増加している。なお、不渡手形は3枚、1百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、4件（前年同月3件、前月7件）、負債総額7億円（同4億円、同14億円）となっており、地区別では下越地区で2件（新潟市1件、五泉市1件）、上越地区で2件（上越市2件）、発生しており、中越地区では発生していない。業種別は、建設業が2件、製造業が1件、卸売業が1件、となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が3件、その他が1件となっている。倒産件数・負債総額は、前月比とともに減少したものの、前年同月比では、ともに増加となっている。また、負債額10億円以上の大型倒産は発生していない。

建設業の活況は続いており、住宅着工が好調なため関連の運送業に伸びが見られる。東京五輪の開催決定なども弾みとなり、先行き見通しはやや明るくなっている。